

平成 29 年度の教育活動を振り返って

学校運営の現状をご理解いただくと共に、学校外部からの貴重なご意見を伺う場として、例年 2 回の理事会と必要に応じて企画推進委員会や全体会を行っています。

また、29 年度は、学識者や教育委員会の方々にお越しいただき、錦林小学校や第三錦林小学校と共に、検証委員会を行うことができました。

この検証委員会、学校運営協議会や P T A 役員・保護者のみなさまからいただいたご意見や意識調査から、岡崎中学校のあり方を振り返ってみたいと思います。

<学習指導面について>

個々により差はありますが、学力調査等では概ね良好な成績を示しています。アンケート結果からは、予復習等の家庭学習の時間が全国平均よりも少ないようです。教科の割振りをしながら宿題など日常の取組なども行っていますが、規則正しく家庭学習の時間を設定するようご家庭でもご協力宜しく願いいたします。

<生活指導面について>

テレビ・スマホ・インターネットの使用時間が平均を上回っています。前述の家庭学習の時間にも関係していると思われます。特に、この数年本校でも SNS 等ネットを介しての小さなトラブルがよく起こっています。学校でも「ケータイ教室」や「非行防止教室」を増やすなど取り組んでいますが、ご家庭でも利用の仕方について話し合ってください。

<保護者のみなさまからのご意見>

学年が下がるにつれて、「学校目標や学校の取り組みがわかりにくい」というご意見をいただいています。本校教育の方向性をもう少し明確に示すことができるように努めてまいります。基礎・基本的な学力の保障について、不安を抱いておられる保護者もいらっしゃるようです。「ふりスタ・みらスタ」など、学生ボランティアによる日常的な放課後学習なども実施しております。効果的な活用などもご検討ください。

<地域・P T A との連携について>

岡崎の地の利を活かして、動物園やロームシアター京都などでの行事に参加させていただいていますが、「もう少し地域行事に参加させられないものか」とのご意見をいただき、夏祭り運営のお手伝いや、敬老会への参加なども行っています。無窮講座では、P T A や地域のみなさまによる学習講座を毎年十数種類開催することができています。本当にご協力ありがとうございます。

<今後の岡崎中学校について>

「将来の生活への夢や希望がありますか」という問いかけに、良い返答ができるよう、地域や P T A のみなさまのご協力を支えとして、キャリア教育・人権教育・健康教育を 3 つの柱としながら、たくましく将来の社会を生き抜くための資質・能力を育成できる学校を目指して、努力・研修を重ねていく所存です。今後ともご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。